

# アイテム

2010  
夏  
Vol.12

(財)伊丹市文化振興財団  
TAKE FREE

特集

アイテム旅行社へ

ようこそ



ニノキ  
アダン

## 大好評の連載陣

【芸は身を助く】

超体育会系ノリで自分に喝を入れてみる

【終演後の一軒】

酒蔵通りの創作中華

【クラフト作家の仕事を訪ねて】

自分だけのカタチを求めて、たゆまぬ努力

【まちなか美術手帖】

世界に誇る多彩なガラスアート

【THE 部活】

市立伊丹高校なぎなた部

【伊丹と私は同じ歳】

伊丹の住宅事情と歩む70歳



伊丹市文化振興財団・加藤四季。歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連載

vol.12  
**芸は身を助く**  
財団四季の

【陸上自衛隊第3師団】  
近畿2府4県の防衛警備・災害派遣等を主たる任務とする。

## 超体育会系ノリで自分に喝を入れてみる

企業の新入社員研修を自衛隊が実施していると聞き、「気持ちは今でもフレッシュに」をモットーに初の一泊二日取材してきました。

担当教官は化学テロ・兵器のスペシャリスト集団・第3特殊武器防護隊の皆様。「1日とは言え、入隊している事を忘れないように!」と若干学生気分が抜け切らない雰囲気を一蹴する喝入れから団体行動スタートです。

基本的な整列・敬礼でさえ、緊張して指示が記憶できず、声が小さい・動きが緩慢・統制が取れてない等、基準を満たさなければ何度でもやり直しに。その度にテンパりが伝染しあい、独特の緊張感が筋骨は硬直、脳と体は

分離の一途を辿るばかりです。もちろん自衛隊と言えば「体力と根性!」という印象を裏切らず、体力検定は腹筋・腕立て伏せ・長距離走。負けず嫌いの悲しい性でアラサー絶賛空回り。弱気の虫が顔を出せばゲキが飛び、頑張るとお褒めの言葉が。乗せられる私も単純ですが、お蔭様で腹筋は1番頂きました!

夜は体力勝負から一転、知力の供給。鉄帽や防弾チョッキ等に触れさせて貰い、重量に慣れ、防毒マスクに毒の存在を自覚し、日常に覚悟がある凄いな仕事だと感服しました。

よし後は寝るだけ!? と思ったらそうは問屋が卸さない。続きは次号。だってまだ1日目!



二人一組で動まし合う。相方の手の平に額をつけてやっと1カウント。地面すれすれまで降りて…そして戻れない。



元陸上部っばい!? でも短距離専門だったので役立つ。穴ぼこで足を挫いたらすが、気付かず。



実際に取れて、解説付きなんてなで贅沢。貴重だけど恐ろしいひと時です。



【取材と文:加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「ミュージカル『ひめゆり』稽古休みに共演者と沖縄へ強行! 学徒るりさんにお話を聞いた事は宝物です」

伊丹がふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusaitoiami.html>



◎釜揚げうどん千舟屋◎

北野6-11。072-779-1062  
11:00~15:00 (L.O 14:45)  
※現在、夜間休業中。  
水曜・第3火曜休。



◎茶舗 木蔭◎

高台1-127-7  
072-744-7318  
10:00~18:00。火曜休

「暑いから暑いつけて」。どちらでも穴場ならではの人当たりの良さ。ファンが多いのにも頷ける。



🚲 栄養・水分補給は地元の穴場

体を動かせばお腹は減るし、喉も渇く。折り返し地点としても最適な「釜揚げうどん千舟屋」で腹ごしらえはどうだろう。味、ボリューム、種類の豊富さに、地元の料理人やバーのオーナーなどが足しげく通う隠れた名店だ。持参した水筒が空になれば給茶スポットへ。西国街道沿い、白ゆり幼稚園傍にある「茶舗 木蔭」では、特製のほうじ茶を入れてくれる。

🚲 なんとなく幸せ

気心した友人とのマイペース旅ならぜひとも自転車。季節毎に楽しめるデイリーコースを紹介したい。まずは猪名野神社で安



自然満喫ツーリング  
走るも歩くも  
自分次第

- ◎ 伊丹緑道～瑞ヶ池～天神川
- ◎ 往復約2時間 (ゆったり休憩付)
- ◎ 1200円前後(飲食込)



🚌 行き先はフリーリング

どこか遠くへ連れてって  
あてのない  
バスの一人旅



- ◎ JR伊丹～JR中山寺
- ◎ 往復約1時間
- ◎ 390円(バス・電車)

一人の旅情を満喫したいなら、バスという選択肢はどうだろう。通勤・買い物など生活の移動目的が大半の中、遠くへ行きたいと乗るのは自分だけ。そんなシ

特集

ITEMU TRAVEL AGENCY

ようこそ！  
アイテム旅行社へ

遠くに行くだけが旅行じゃない。ぼんやり行き先だけ決めてバスに揺られる。

涼しげな道を自転車で走り抜ける。下町気分散歩する。

見方を変えればこんなに楽しめる地元3コースを一挙ご紹介。

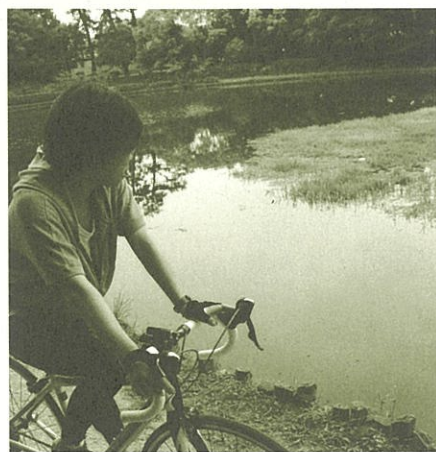
◎取材と文：中脇健児



全折願。そのまま裏手に行けば伊丹緑道へと続く。竹林や歌碑も点在し、すぐ隣が産業道路とは思えない静かな雰囲気だ。「アジサイの青色がスキ」ピワも色づいてるねえ」。四季折々の自然を通じた何気ないやりとりに「贅沢やなあ」と思わず呟きたくなる。

🚲 すれ違いの美学

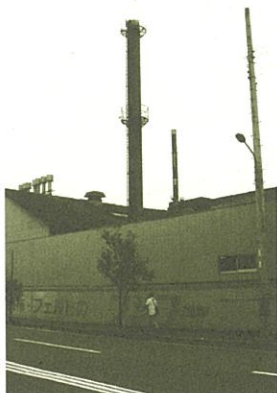
縫うように緑ヶ丘公園、瑞ヶ池、天神川を走れば、次々と散歩中の人たちとすれ違う。立ち止まればぎつと「こんにちわ」と話しかけられるだろう。もし毎日同じ時間帯を歩けば、顔見知りになり、いつかは一緒に散歩する日もあるかも：なんて出会いも悪くない。



チューエーションが、絶妙な孤独感をそそるはずだ。路線図を眺めて、向かう先は宝塚市。車窓から流れ変わる街並みを堪能してみよう。

🚲 意外に知らない地元の名所

JR伊丹駅前から乗り込んだのは市バス5系統。駅前から市役所、市立病院、荒牧と続く幹線道路を走る「JR中山寺行き」だ。ヨソへ越境する前に、まずは地元の歴史から。「JR伊丹駅」横の有岡城跡は、織田信長と荒木村重の戦いが繰り広げられた悲運の地。「千僧口」手前にあるフェルトのフジコーは、戦

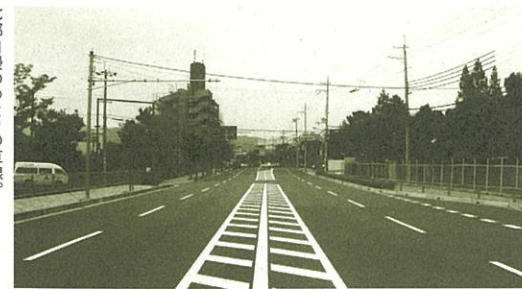


後まで「東洋一の帽子工場」と謳われた掘抜帽子製造所が前身という由緒ある工場だ。地元の歴史スポットを堪能しているうちに、まもなく国道171号線。疾走する車の流れに乗って伊丹市立病院に向かって右折をすれば、目の前に広がる光景は変化する。



## 車窓から見える北部愛

昆陽池、雪印工場、バラ公園を眺めながら4車線のゆったりした直線が最後まで続く。このゆとりが伊丹北部。秋になると鴻池、荒牧のたんじりが悠々と道路を歩く。園芸に特化した地域だからこそ、花壇の豪華さも冴えわたる。直線を最後に曲がって終着JR中山寺へ。広がる風景は欧州風の建物の数々。「これこそ宝塚か」と確認した後は電車で帰る…なんていうバカバカしさも一人旅らしいですよ。



北部自慢のゆとり直線。

### 調べれば奥の深い、市バス事情。

1日に1本しか走らない路線がある。系統82番下河原行きだ。猪名川沿いの工場が立ち並ぶ道路を走る。平日8時22分阪急伊丹発だ。いつか早起きして、朝日と飛行機と工場群を堪能しよう。

## 人下町の伊丹

ほろ酔いになれば、銭湯「橋温泉」で汗を流して酔いざまし。カラスの行水よろしく露天、サウナ、薬風呂とハシゴする。ほてった体にかん水をし込み、扇風機の風にあたつていれば、常連さんのタイガース談議が聞こえてくるかも。ノスタルジックな下町情緒がタイムトラベルを実現してくれる。



### ひがし商店街

阪急伊丹駅前にある商店街。定食屋から居酒屋ダイニングまで豊富に揃う。立ち飲み屋だけでも4、5軒あり、全店ハシゴする強者もいるとかいないとか。

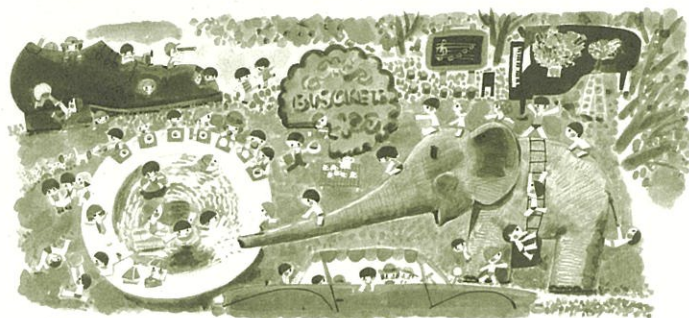
### 橋温泉

桜ヶ丘1-3-8  
072-782-2246  
15:00~25:00  
(日曜のみ7:00~)。不定休  
大人410円  
中人150円  
小人60円



## 美術館で旅する事だってできるんです 「堀内誠一展~旅と絵本とデザインと」

【会場】美術館 【期日】9月11日(土)~10月24日(日)



「へるんはのようちえん」福音館書店 ©Seiichi Horiuchi

雑誌「平凡パンチ」や「アン」に「ブルーアス」などの革新的なアート・ディレクターとして、また「ろうまフランク」や「へるんはのようちえん」などのばけつほかに、多くの傑作を生み出した絵本作家として、多彩な創作活動を繰り広げた堀内誠一(1932~2007年)。  
実は世界各地を旅して、多くのイラストや絵手紙を残した「旅行家」だったそう。  
さまざまなジャンルを軽快に行き来した堀内誠一の軌跡を、「デザイン」「絵本」「旅」の三つの側面から追ってみて、一緒に世界を旅してみよう。

### 「堀内誠一展 ~旅と絵本とデザインと」

9月11日(土)~10月24日(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。  
一般700円、大高生350円、中小生100円。072-772-7447。

## 旅は道連れ、世は情け 徒歩で行く 妄想旅行

- ◎ 阪急伊丹駅周辺
- ◎ 千鳥足で2時間
- ◎ 2000円~3000円 (飲食・風呂込)



## 人のれんをくぐれば そこは港町だった

自転車が所せましと並び、買い物帰りの主婦やパチンコ屋を出たおじさんたちが行きが



立ち飲みにも長居は禁物。混み合ってきたら今度は数軒隣の立ち飲み「和田家」へ。ホルモンの串を片手に、ホッピー、マッコリと飲み比べる。じゅつじゅつと焼ける音と匂い。そうそう、テレビで見るアジアの屋台ってこんな感じ。行ったことなくても、飛行機に乗らなくても、阪急伊丹駅前でも、ル気分が味わえる。



## 人妄想ソウル。鶴橋気分

うひがし商店街で港町に通じる店がある。その名も「立ち飲み かっちゃん」。大漁旗や魚拓が飾られ、明石・伊勢・高知…など水揚げされた産地にオスメの魚がメニューにずらりと並び、ぶつ切りのタコや大将オスメのカンパチをつつきながら「住むなら高知ちゃいませう? 日曜市がいい味でますで」と隣の客と魚の産地の思い出話でもして、勝手に旅情をかきたててみてはいかがだろうか。



伊丹市立工芸センター2階ホールと地下1階入口に、大きな器や個性的な形のガラス作品約80点が棚に整然と陳列される。93年に地域活性化事業の一環として宝くじ助成金を受け、国内外26作家と欧米ガラス工房による現代ガラスを中心に集められたものだ。無料開放スペースのため何度でも作品を間近に観ることができる。

文化勲章受賞者である藤田喬平(1921~2004)による飾篭「紅白梅」をはじめ、ガラスアート界の蒼々たる作品が並ぶなか、私にとって思い入れのあるデイル・チフリー(1941~、米)の作品がある。チフリーといえば、日本でいう人間国宝にあたるアメリカ初の「ナショナル・リヴィング・トレジャー」に選ばれ、世界各国の美術館に所蔵される現代ガラスアートの革新者だが、展示される透明感ある淡い色彩と流動的に波打つ形がまるで貝やクラゲのような(シーフォーム(SEA FORMS))シリーズは、

## 世界に誇る多彩なガラスアート



01年にスタートしてから3年に1度開催しているガラス作品の公募展。今回はテーマを「夢」とし、139人の応募の中から入賞8人、入選43人、合わせて51人の作品が選ばれた。大賞の齋藤直「brilliant globe」は頭の中に詰め込まれた夢や希望を表現した浮遊感のある作品。その他、多彩なガラス作品が競演する。

「グラスクラフトトリエンナーレ」  
9月7日(火)~30日(木)10:00~18:00(入館は17:30、最終日は16:30まで)。無料。  
伊丹市立工芸センター(072-772-5557)。

## まちなか美術手帖

学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにたずむアート作品を紹介。普段何げなく見ていたものが実はすごい作品だったんです。

【伊丹市立工芸センター×ガラスアート】

吹きガラスの技術をもって水のよくな柔らかさを表現した独自の有機的形狀がよく表れている。

数年前、シンガポールで泊まったホテルのラウンジでチフリーのシャンデリアに出会い、天井まで10メートルほどある壁面で黄色と緑色の触手をのびした巨大インゲンチャクのようにうごめく躍動感に大きな衝撃を受けた。

美しく幻想的な輝きを放つ作品を目の前に、静かではかない生命力を感じながら、あの時の記憶がよみがえる。

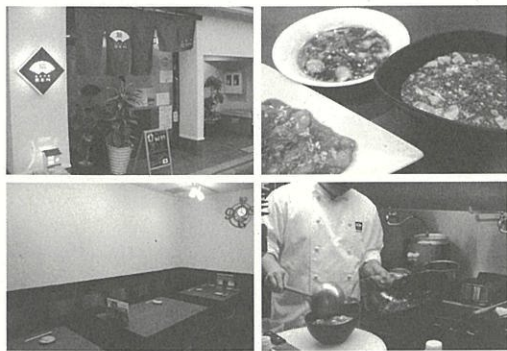


【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナメから見る「理論よりも感性」な現場肌。学芸員、専門は近現代美術。「最近ふらっと一人旅にも慣れました…大人です」

伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちゃんとありました。

## 終演後の一軒

A DOOR AFTER THE SHOW



8/8(日) □会場：いたみホール  
国立中国雑技団 特別公演 SUPER SURPRISE

「雑技団」の新境地、世界が絶賛!

唯一の政府直轄雑技団にして、中国最大の芸術団体。中国全土から集まったエリートたちが魅せる圧倒的な超絶の技。それだけじゃなく、ストーリー性にあふれ、現代的な舞台美術と融合した、今までにないプログラムだから楽しめる!

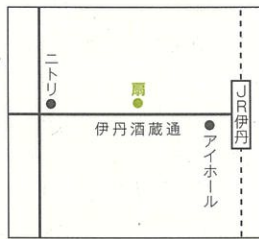
8/8(日)14:00、3,500円[全席指定]、072-778-8788  
※3歳未満のお子様は膝上での鑑賞の場合無料。ただし席のいる場合はチケットが必要。

ジャスミン梅酒550円他お酒は100種類以上あり。本格四川山椒のしびれる麻婆豆腐700円、扇特製ソースのアクアパッツア700円。フカヒレの姿特上煮込み2,500円。伊勢海老のXO醤蒸4,200円。コースはランチ1,950円~、ディナー3,200円~。(税別)

## 酒蔵通りの創作中華

2本の棒に繋がった糸で自在に「コマ」を操る「中国コマ」。国立中国雑技団はこのスタンダードな演目を進化させ、2005年「明日のサーカスフェスティバルフランス大統領賞」に輝いた。演じるのは中国全土から集った20代のエリートたち。コマ同様、縦横無尽に跳ね回る。伝統と新しさが入り乱れるチャイナパワァーに圧倒された後は、和洋の風味を巧みに取り入れた創作中華がふさわしい。若い兄妹が切り盛りするお店の名前は「扇(せん)」。個性的な店が軒を連ねる伊丹酒蔵通りにオープンした唯一の中華料理屋だ。

テンメンジャンに味噌で下味をつけた挽肉が香ばしい麻婆豆腐。他では



創作中華 扇  
伊丹1-8-25-1 ☎072-747-3338 / 月休  
平日→17:30~23:00  
金・土→17:30~24:00  
日・祝→17:30~Last close  
(土・日・祝ランチ→11:30~15:00)

味わえない「あまから」味の坦々麺。どちら山椒油が効いて、舌先のしびれがくせになる。こりこりのイカやホタテにナンプラーなどの「魚醤」をブレンドしたソースがからむ「アクアパッツア」は、後味さっぱりイタリア風中華。まさに万国の料理は中華に通ず、と言ったところか。「団樂を楽しんで欲しい」という扇田さんの料理はどれもボリューム満点で、家族連れ多い本公演にぴったりだ。妹さんが出してくれたジャスミン梅酒を飲みながら、オーナーシェフのお兄さんに中華料理の道に入った理由を聞くと「やっぱり家族で食べに行った中華の味は忘れられないですな」とのこと。家族への愛がにじむ言葉で、口の中にさわやかな香りがふわっと広がった。

【取材と文：宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにもせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「昔、合宿先で一人まちあるきをしていたら迷子になりました」



自分だけのカタチを  
求めて、たゆまぬ努力

篠山市今田町。牧歌的な野山に位置する集落は、日本六古窯の一つです。通りに約60軒の窯元が連なり、軒先や道端に花瓶や鉢が見られ、生活用器づくりに特化した丹波立杭焼の産地らしい光景が広がります。シンプルな形と釉薬を用いた深みのある色合いが特徴ですが、「珪耀窯」の清水一二さんは対照的に色の鮮やかさと本物の石のような表面の仕上がりで、目を惹きます。

焼きものを仕事としている家で育った清水さん。立杭で修行していた27歳の時、人間国宝を5人も輩出した備前へ研修に。自由な作風と風土に刺激され、慣れ親しんだ産業としての「焼きもの」ではなく、「作品」を手掛けたいと思うようになります。「とにかくたくさん作品を見たり、公募展に出品したりして、自分に合う作風を模索した」と言う清

## クラフト作家の仕事場を訪ねて

陶芸家の清水一二さん



ロクロは珍しい「左回り」。日本の窯業地では大半が右回りだそう。



なんとも長閑な風景



さりげなく置かれた植木鉢も長く見るとすてきな作品



ギャラリーも併設されていて外観もお洒落

工芸センターより清水さんも審査員となっている伊丹国際クラフト「酒器酒器白の作品を募集中。大賞50万円など。登録締切は8月13日(金)。素材は問いません。日本酒のあるシーンを愉しむ新しい発想の作品をお待ちしております。詳細は工芸センター(072・772・5657)まで。

しみず いちじ  
清水 一二

1961年丹波立杭生まれ。篠山市今田町在住。日本工芸会正会員。2011年1月8日～3月12日まで、工芸センターにて講座開催予定。HPは <http://www.shimizu-ichiji.jp>

【取材と文：澤野宏美】伊丹国際クラフト展などを通して全国各地の工芸作家とつながる。手織や陶芸などの講座を主に担当。【JR 青春 18 切符の季節。新快速のガタンゴトンという揺れがなんとも心地良いのです！】

## 伊丹市制70周年企画 ～年月の重みを醸し出す伊丹人列伝～

取材と文 内山真理子 松居令子

# 伊丹と私は同じ歳

【第二回】河本秋夫さん

扉を開けると、思わず日本を感じる豊特有の香りが広がった。神戸で10年修業を積んだ後、昆陽東に店を構えて40年が経つ。「来た頃は田んぼだらけやったのにと振り返るように、昭和43年に阪急伊丹駅の高架化が完成してから、駅から離れた河本畳店の周辺でも市役所の移転、博物館・図書館のオープンと続き、マンションや店も周りに随分と増えた。

後押しされるように忙しい時期を過ごすが、阪神大震災では店は大きな被害を受け、建て直すなど辛い時期も。最近では、畳業界でも機械生産やワラに代わる新素材の登場、和室の減少や、中国からの輸入など、時代の変化を痛感せずにはいられない。今は同じ「級畳技能士の息子と共に店を営む」「昆陽池など自然が残る伊丹は暮らしやすい」と話す河本さんの表情は穏やかだ。

### 伊丹の住宅事情と歩む70歳



河本畳店店主の河本秋夫さん。級畳技能士。好きな散歩コースは昆陽池。

畳床を横から見た断面図 職人の手... 畳のへりをつける作業を行う



## THE部活

(市立伊丹高校なぎなた部)

取材と文◎権田康行

### 伊丹最古の伝統と心

創部100年超の歴史を持つ、インターハイ出場も数知れず。「キングオブ部活」市立伊丹高校なぎなた部だ。全日本連盟の本部、世界チャンピオンの輩出：となぎなたの中心地として知られる伊丹の強豪校だが、「部活動は必ずしも順調ではない」と同校なぎなた部出身で顧問の貴島政英先生は語る。ここ何年かは部員数に悩み、公式戦に出られない危機

にも直面した。今年3年生二人と2年生の混合チームで「経験が少なくても勝ち抜こう」という目標が名門のブレッシャーを跳ね除け、インターハイ出場の切符を手にした。部員の平野恵子さんは「勝てたことよりも、みんなで頑張れたことが楽しい」と振り返る。練習では厳しいゲキを飛ばすが、終われば優しい先輩の凛とした立ち姿を目に、またひとつ伝統が刻まれていく。



8・29(日) 園芸師が描いた美しい庭

「素朴派画家」と呼ばれ人気を博すアンドレ・ポーシャンの油彩画85点を展示。園芸師であった経験にもとづく花々や風景、神話や古代史などを明快で温かみある画風で描かれた作品に「自然に親しむこと」「絵を描くこと」の楽しみを感じよう。

美術館・工芸センター



〈ラヴァルダン城の前、丸いフルーツ皿に載った果物と花〉1957年 (C) ADAGP Paris & SPDA, Tokyo, 2010

【素朴絵画の世界 アンドレ・ポーシャン展 世界で一番美しい庭】開催中～8月29日(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大高350円、中小100円。072-772-7447

9・26(日) ヴィヴァルディ×酒蔵

日本テレマン協会による「四季」全曲演奏を含むオールヴィヴァルディプログラム。巧みな情景描写に彩られた楽曲を酒蔵で嗜みませんか。コンサートホールとは異なる趣で季節を感じながらのコンサート。休日の屋下がりにはぜひ。

伊丹郷町館



【テレマンのバロック音楽の宴vol.17 芽吹き、咲き、そして散る…ヴィヴァルディ「四季」、酒蔵にて】9/26(日)14:00、2,000円(当日500円増)。072-778-8788(いたみホール)。

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラストホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2010年8月1日発行(季刊夏号・通巻65号)  
発行:(財)伊丹市文化振興財団  
編集:アイテム編集委員会  
表紙イラスト:ニシワキタダン  
デザイン:三澤敏博(緑線堂)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
伊丹市立文化会館「いたみホール」内  
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585  
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan  
Email→itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp

＜配布場所＞市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ヒバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所



ラストホール  
併設有料駐車場  
約30台

市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内  
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン  
いたみホール A・Fゾーン  
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント

【堀内誠一展 ～旅と絵本とデザインと】9月11日(土)～10月24日(日)＜美術館＞  
5組10名、8月25日必着。

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

8・28(土) コルシカの風を聴く

地中海に浮かぶフランス領の島、コルシカ。ア・フィレッタは、コルシカの伝統音楽に新たな表現の道を切り開く男声アカペラ・コーラスグループ。ガラスの糸を織り重ねるような繊細で美しいポリフォニーに、男達の秘めたる情熱を感じて。

伊丹アイフォニックホール

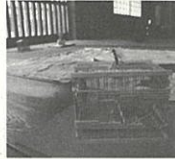


【アイフォニック地球音楽シリーズ151 コルシカ島から 地中海のポリフォニー】8/28(土)19:00。一般3,500円、学生2,500円(当日500円増)。072-780-2110。

9・3(金)～9・11(土) まちなかで虫が鳴く

伊丹市昆虫館とのコラボ企画。町家や酒蔵がのこる郷町一帯で、竹の虫かゴヤツポに入れたスズムシなど約15種、2,000匹が大集合する。今年で5回目。関係団体・企画20以上という規模でまぢぐるみで盛り上がる。

伊丹郷町館、ほか



【鳴く虫と郷町】9/3(金)～9/11(土)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。※4日・5日・11日は21:00までの特別夜間開館。無料(一部有料イベント有)。072-772-5959

コドモが主役だ。夏休み。

思い出はプライズレス。

真っ黒に日焼けするのもいいけど、文化施設だって負けちゃいない。

各館の気合いの取組みの数々をご紹介します。

※今年の申込みはメッキリました。毎年6・7月頃に募集いたします。

やろう! 創ろう! 楽しもう!

ラストホール

夏休みのラストホールは朝7時から子どもたちの元気な声が響く。10年以上前から行なっている「あめんぼう水泳教室」だ。ペテラン講師たちの厳しくも温かい指導で、水が苦手な子どもも、気づけば笑顔がこぼれている。昼間になれば、各種工作、料理、パソコン、スポーツチャンバラなど、体験型の講座が続々開始。あちこちで歓声が聞こえはじめる一方、地域住民がボランティア講師となる「夏休み子ども寺子屋」では、幅広い世代交流の風景が垣間見られる。バラエティに富んだプログラムに子どもたちが縦横無尽に駆け回



エンゲキ・ダンスで遊ぼう!

アイホール



毎年恒例となった「エンゲキをおもちゃにして遊ぼう」を合言葉に5日間でお芝居をつくる「元氣! えんげき」。今年は、カラダの中に眠っているユニークな動きをひっぱりだして3日間、ダンスをつくる「わくわく! どきどき! からだで冒険!」も開催。はずかしがり屋のあの子も、アイドルを夢見るこの子も、初めて出会う仲間とともに舞台上に立てば、終わる頃には、見違えるようになっている。

自分だけの一点ものを。

工芸センター

こどもの思いをカタチにする。手織・フェルト・ガラス・陶芸・スパイニャイル・ジュエリー・染色・木工を、現在活躍中のアーティストから教えてもらえ、人気の講座が「夏休み一日クラフト教室」だ。目を輝かせて遊びながら楽しく学ぶ姿は立派なキッズアーティスト。できあがった作品を誇らしげに持って帰る姿がなんだか微笑ましい。

